

〔PONAM-26L/LⅡ 不具合に関する自主回収情報〕

このたび、弊社は、以下のとおり、自主回収を実施することに致しました。ご愛用の皆様にはご心配とご迷惑をおかけすることとなり、深くお詫び申し上げます。

現在、自主回収対象製品を保有されているお客様には、今後も安心してご利用いただくため、取扱い販売店からお電話を差し上げますので、その後、修理の受付をしていただきますようお願い申し上げます。

なお、ご案内直後からしばらくの間は、修理のご要請が集中することが予想されます。

その場合には、ご使用時間の多いお客様から順に修理を実施させていただきます。

はなはだ勝手なお願いではございますが、あらかじめ最寄りの取扱い販売店にご相談を賜りますようお願い申し上げます。

＊自主回収（マリン製品回収業界自主制度）とは＊

プレジャーボートに関わる消費者の保護を目的に、業界が自主的に運用することを定めた制度です。

この制度は、（社）日本マリン事業協会に所属する製造業者または販売業者が、自社の判断により、製品の回収（修理、改善）を決定した場合、（社）日本マリン事業協会に届出を行った上で、回収を実施するものです。

自主回収の概要

【回収開始年月日】

2014年1月6日

【不具合の部位】

アルミハル（船底部）

【不具合の状況】

アルミハルの船底に強い衝撃が加わるような走行を繰り返しますと、船底の特定箇所に応力が集中しまれに亀裂が発生することがあります。そのままの状態では長期間使用を続けると、最悪の場合、浸水する可能性があります。

【改善の内容】

ハルの既存フレームへ溶接と補強材を追加します。（回収箇所説明図 参照）

修理期間は、約1ヶ月の予定です。

【製品名（型式）】

PONAM-26L（B30・B31）およびPONAM26-LⅡ（B32）の全艇

【対象製品の販売期間】

2002年～2011年

【対象製品の数量】

PONAM26L：170隻、PONAM26LⅡ：35隻

お客様へのお願い

●日々の点検ならびに使用前の点検を行っていただき、万が一、船底のビルジが増えている場合には、販売店にご連絡を賜りますようお願い申し上げます。

●上記修理未対応の艇で航行中に浸水を確認した場合であっても、破断箇所からの浸水の進行は緩やかであり直ちに艇が沈むことはありませんので、速やかに帰港いただき、取扱い販売店にお問い合わせください。

＜トヨタマリン営業所のお問い合わせ先＞ 0120-532-451（フリーダイヤル）

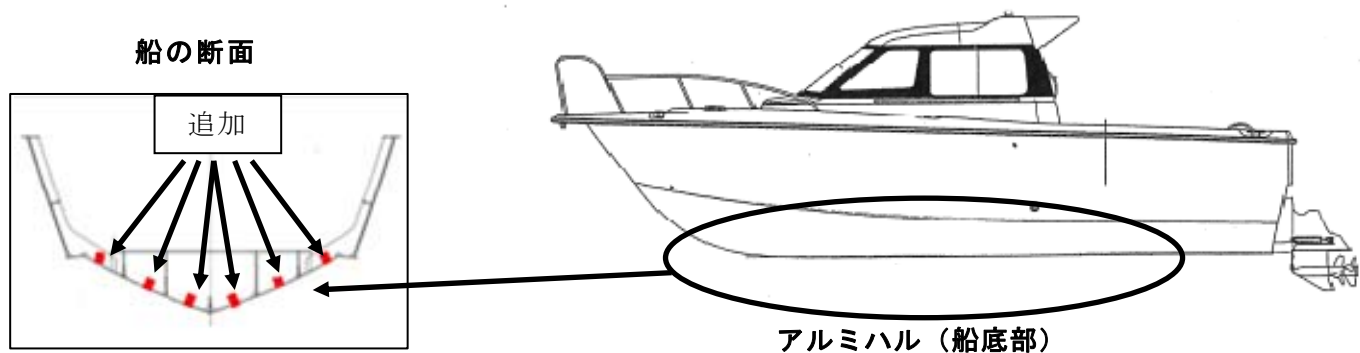
今後とも、さらなる品質の向上を目指し、お客様からの信頼にお応えできるよう一層努力をまいります。何とぞ末永くご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

以上

平成26年1月

トヨタ自動車株式会社
マリン事業室

《 回収箇所説明図 》



《 回収識別マーク説明図 》

回収作業が完了した場合、下記のとおり識別マークを貼り付けます。

